信濃史学会、信州近世史セミナー、長野県立歴史館　主催

近世史セミナー

テーマ「古文書を守る」

県内各地に残された古文書が世代交替によって散逸したり、災害の被害に遭ったりしています。地域に残された記憶をどのように後世に伝えたらいいのか、今回は地域資料を守る取り組みについて考えてみようと思います。

「和宮様御下ニ付宿内御宿帳」長野県立歴史館蔵

◇日　時　**令和２年１２月５日(土)　13:00～15:40**

◇会　場　**長野県立歴史館　講堂**

◇申　込　事前申し込みが必要です（先着４０名）

申込方法は県立歴史館ホームページ（ながの電子申請サービス）、FAX、葉書、持参による。詳しくは県立歴史館ホームページか総合情報課までお問い合わせください。

日程及び内容

※観覧料が必要です

研究発表（１３：１０～１３：５５）

「小諸市古文書調査室の取り組み」

市川　包雄 氏（会員）

講　　演（１４：００～１５：３０）

「『ウィズ・コロナ』社会の地域歴史資料保全」

西村　慎太郎 氏（国文学研究資料館准教授）

従来の地域歴史資料の保全と継承、災害における文化財レスキューは「ウィズ・コロナ」社会の中で大きな転換が迫られている。今回は報告者の実践例を踏まえて、これらの問題を検討してみたい。

〈講師紹介〉

1974年生まれ。2010年 国文学研究資料館准教授。日本近世史（地下官人について研究）・歴史的アーカイブズの研究者で、最近では史料保存の調査研究を行っている。NPO法人歴史資料継承機構代表理事。著書『近世朝廷社会と地下官人』吉川弘文館、2008年。『宮中のシェフ、鶴をさばく 江戸時代の朝廷と庖丁道』吉川弘文館、2012年。「文書の保存を考える」『歴史評論』750号、2012年。

【問い合わせ先】　長野県立歴史館総合情報課
TEL 026-274-3991